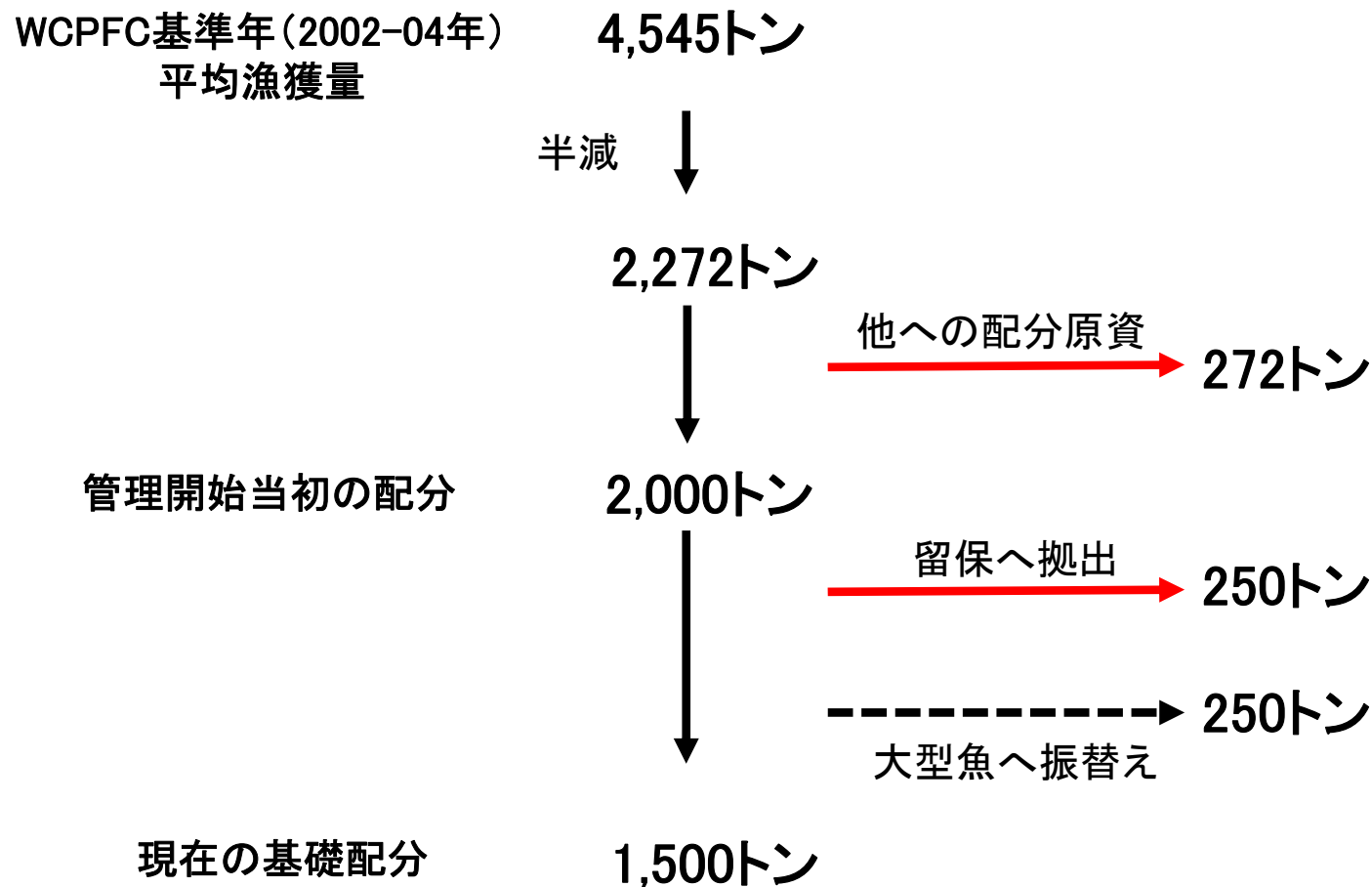


大中型まき網漁業から他管理区分への融通等の経緯①

○ 小型魚

- 管理開始当初の配分において、WCPFC基準年(2002-04年)の平均漁獲量から半減し、さらに272トン进行削減(272トンは他の漁業及び都道府県への配分原資に。)
- 第4管理期間以降において、国の留保へ250トンを抛出。

(配分の経緯)

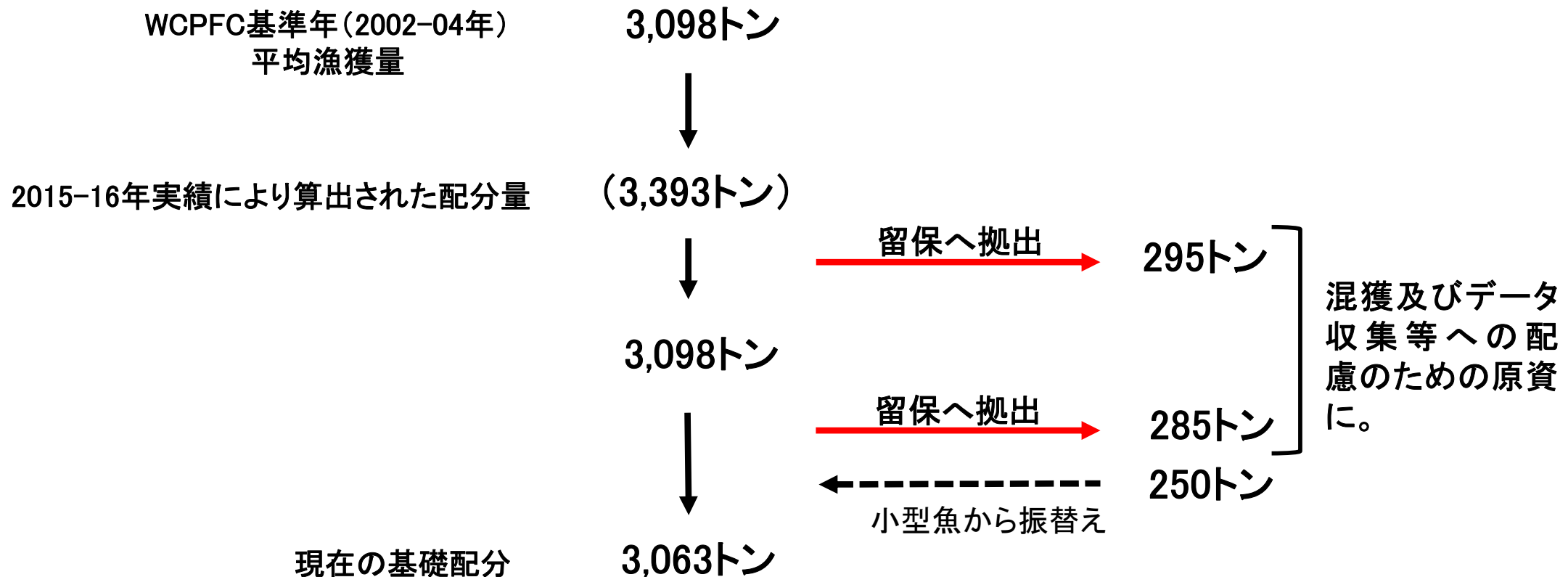


大中型まき網漁業から他管理区分への融通等の経緯②

○ 大型魚

- 2015-16年実績に基づき配分量を算出するところ、WCPFC基準年(2002-04年)平均漁獲量を超える数量(295トン)を国の留保に抛出。
- 大臣許可漁業、都道府県とも配分量の約1割(大中型まき網にあっては285トン)を国の留保に繰り入れ。

(配分の経緯)



大中型まき網漁業から他管理区分への融通等の経緯③

○ 融通

第5管理以降、都道府県からの融通要望に対応。

(融通の実績)

○第5管理期間

2019年 4月 小型魚90.0トン北海道ほか2県の大型魚90.0トンと交換

2020年 1月 小型魚2.0トン石川県の大型魚2.0トンと交換

○第6管理期間

2020年 5月 小型魚80.2トン北海道ほか3県の大型魚80.2トンと交換

2020年10月 小型魚30.0トン石川県ほか6県の大型魚30.0トンと交換

2020年12月 小型魚4.2トン福井県ほか3県の大型魚4.2トンと交換

小型魚158.9トン北海道ほか8府県に譲渡

○令和3管理年度

2021年 5月 小型魚108.6トン北海道ほか6県の大型魚108.6トンと交換

2021年 7月 小型魚6.2トン新潟県ほか2県の大型魚6.2トンと交換

2021年10月 小型魚35.1トン新潟県ほか3県の大型魚35.1トンと交換

2021年11月 小型魚23.2トン新潟県ほか3県の大型魚23.2トンと交換